

伊豆大島ジオパーク活動支援事業報告会

伊豆大島の宝、サクユリを どのように守っていくのがよいか？



ーカルデラ内のサクユリはちゃんと種子をつけているの？ー



7月中旬、カルデラ内で豪華な花を咲かせているサクユリたち。

「年々減っているって聞くけど、それって本当？」

「減っているなら保護しなくちゃ。でもどうすればいいの？」

このたびは、環境省伊豆諸島管理官事務所で
継続的に行われてきたサクユリの開花数記録と、
伊豆大島ジオパーク活動支援事業を活用した
現在進行中の調査の中間報告会を開催します。

調査成果を共有しながら、島の宝・サクユリを
どのように守っていけるのか、一緒に考えてみませんか。

と き：2025年12月12日(金) 19:00-21:00 (開場18:40)

ところ：伊豆大島ミュージアム ジオノス 上演ホール



プログラム：

小野 可蓮 氏（環境省伊豆諸島管理官事務所）

「伊豆大島山頂カルデラ内のサクユリ生育状況～5年間の調査からわかったこと」

毛利 茜 氏（東京農業大学3年）

「サクユリの蒴果を食害するシャクガの幼虫は、
サクユリの健全な種子を減らしているのか？」

本間 政人 氏（環境省伊豆諸島管理官事務所）

「国立公園における動植物保全の取組～
北海道利尻礼文サロベツ国立公園の事例から」

意見交換「伊豆大島の宝、サクユリをどのように守っていくのがよいか？」

主 催：伊豆大島ジオパーク推進委員会